

養老町学校のあり方検討委員会

委員長 様

養老町教育委員会

教育長 森島 恵照

諮 問 書

養老町学校のあり方検討委員会設置要綱第2条により、下記の事項について検討の上、答申いただきたいと、諮問いたします。

記

1 諮問事項

(1) 児童数の推移を踏まえた小学校の適正規模、適正配置について

・ 今後の児童数の推移を踏まえた学校数と配置

(1)については、教育的視点、地理的条件や地域連携の視点、学校施設の適正化の視点、まちづくりの視点等を踏まえ、総合的に検討してください。

(2) (1)を踏まえた本町小中学校の将来像について

(2)については、学校を統廃合する場合や小規模校を存続させる場合が想定されますが、小中一貫校、義務教育学校、小規模校の良さを生かす等、様々な学校のあり方が考えられる中で、子どもたちの成長と未来につながる本町の学校の将来像を検討してください。

2 諮問理由

本町は、養老町まちづくりビジョンや養老町教育大綱に掲げた理念をもとに、「ひとりひとりが輝く教育」の具現をめざして学校教育に取り組んできました。平成26年度からは順次コミュニティスクールに移行し、平成29年度からは町内すべての学校(小学校7校、中学校2校)が「地域とともにある学校」として教育活動を展開しています。学校は地域づくりの核であり、地域と連携した学校づくりが教育活動の充実や児童生徒の成長につながっています。

しかし、想像以上の児童数の減少により、同一学年に複数の学級があった小学校が単学級(5小学校)となり、学校規模は縮小しました。令和6年度には町内で初めて複式学級ができました。このような状況下、一定規模の児童数の集団を確保し、バランスのとれた教職員配置を進めたいうえで、多様な見方や考え方が交流できる学校教育環境を求める保護者の要望が高まっています。

こうした本町児童数の推移と町内各地域の状況を踏まえ、本町の望ましい学校教育環境について検討していただきたく諮問するものです。